

《国語の基礎確認シート⑥》 文章全体の構成

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

一 次の物語を読んで、あとの問いに答えましょう。

西暦二〇五〇年、地球環境の悪化により危機的状況をむかえた人類は、宇宙に助けを求めようとしていた。初めて交信に成功したのは、宇宙旅行でたまたま地球の近くを通りかかったグリーン星人だった。テレパシーによって地球人の心を読むことができるグリーン星人は、困り果てている地球の人々に協力することを約束した。ただし、人類が次の提案をのむという条件のもとに……。

それは、「地球環境をちやうど百年前にもどす装置を使い、地球をきれいにしよう。その代わりに、緑のベルトを地球人一人一人の腰に巻いてよいか。」というものだった。そのベルトは、持ち主が悪い言葉やきたない言葉を口にするたびに、少しずつ重くなる仕組みになっていた。

人類は、迷うことなくこの提案を受け入れた。人類は美しい環境を取りもどすと同時に、赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれの体格に合った緑のベルトを素肌に巻いて生活することになった。特別なゴムでできたベルトは、人類の技術では取り外すことができず、成長とともにゆるやかに伸びる仕組みになっていた。

それからというもの、日に日に重くなるベルトに苦しむ人々が増えた。周りの人たちにいつも不満ばかり言っているサミーじいさんなどは、ベルトの重みにたえきれず、家から一歩も出られなくなってしまった。

やがて、世界各地で、労働人口の急速な減少が問題になり始めた。困った人類は、再びグリーン星人に相談をした。グリーン星人の長老は、静かに語った。「リドミ村の人々に学びなさい。」地球連ぼうの代表がその村をたずねる様子を、世界中のテレビ局が同時中継した。

テレビには、村人の姿がうつし出された。サミーじいさんは、目をうたがった。どの村人のベルトも、いかにも軽そうだったからだ。

村全体の幸せを願って、すべてをいたわりながら、自分の仕事にひたすら打ちこむ人々の姿に、じいさんは、「ああ、わしの子どもころの大人たちは、みんなこうじゃった。わしは、いつの間にか、一番大事なことを忘れてしまっていたようじゃ……。」となみだを流した。すると、じいさんのベルトはとつ然軽くなり、しばらくすると、すっかり消えてしまった。

(1) 物語の——線部「日に日に重くなるベルトに苦しむ人々」について、その人たちのベルトが重くなったのはなぜですか。——線部より前の部分の言葉を使って、**十五字以上、二十字以内**で書きましょう。

(2) 次の文章は、この物語を読んだ本田さんが書いたものです。本田さんの意図としてふさわしいものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

二〇五〇年、地球環境の悪化により、人類は危機的状況をむかえていた。

宇宙に助けを求めた人類に救いの手をさしのべたのがグリーン星人だった。グリーン星人は、人類に協力する代わりにあることを提案した。はたして、その提案とは……？

- 1 物語の展開部分を記すことで、物語に関心をもってもらいたい。
- 2 物語の山場を取り上げることで、物語に関心をもってもらいたい。
- 3 物語の状況設定を示すことで、物語に関心をもってもらいたい。